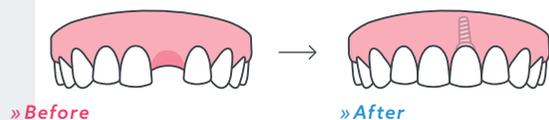


インプラント治療のイメージ

歯を1本失った場合



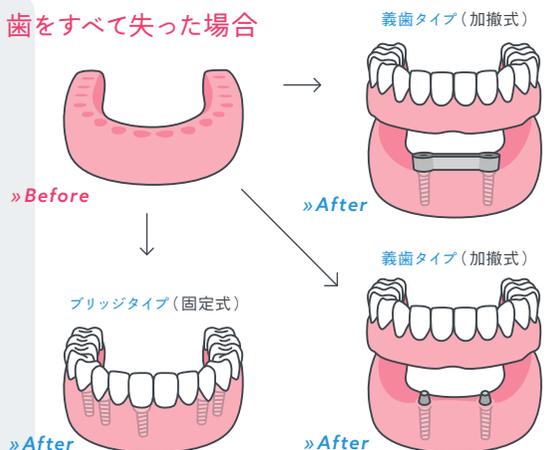
失った部分にインプラントを1本埋入します。インプラントなら、従来のブリッジのように両隣の歯を削る必要がないため、隣接する健全な歯を傷つけることなく治療ができます。

歯を複数本失った場合



従来は局所的な入れ歯を用いて治療していましたが、インプラントを必要な本数を用いて治療します。入れ歯などで使用している金属のパネによる違和感や着脱の手間がなくなります。

歯をすべて失った場合



固定式のブリッジタイプと着脱式のインプラント義歯のタイプがあります。

Q インプラント治療は誰でもできるの？

A 顎の骨が完成する20歳前後から、健康な方であれば基本的に誰でも治療が受けられます。ただし、チタンにアレルギーのある方や全身疾患をお持ちの方、妊娠中の方などはインプラント治療を受けられない場合があります。担当医にご相談ください。

Q 手術時間はどれくらい？入院は必要？

A インプラントの植立は1本あたり10分～30分程度で、入院は必要ありません。ただし、広範囲の骨移植術では入院して手術を行います。

Q 治療期間はどのくらいかかりますか？

A インプラントを埋入した部位や個人によって差がありますが、即時～1年(骨移植の場合)程度必要になります。

Q インプラントはどれくらいもちますか？

A 近年、インプラント治療の成功率は飛躍的に伸びており、50年以上使用している患者さんもいます。しかし、インプラントはお口の衛生状態が悪いと長持ちしません。担当医や歯科衛生士の指導に従い、常に衛生状態を良好に保つことが重要です。

Q 費用はどれくらいかかりますか？

A インプラントの本数や症状によって異なるので、歯科医師にご相談ください。インプラント治療には健康保険が適用されませんが、医療費控除の対象になることもあります。

碧南市民病院 歯科口腔外科

〒447-8502 愛知県碧南市平和町3丁目6番地
TEL: 0566-48-5050(代表) / FAX: 0566-48-5065



インプラントなら、
本物の歯に近い感覚で
噛める、話せる。

インプラント治療のご案内
Dental Implants

口腔外科指導医のいる病院

碧南市民病院 歯科口腔外科

Hekinan Municipal Hospital - Dentistry & Oral Surgery

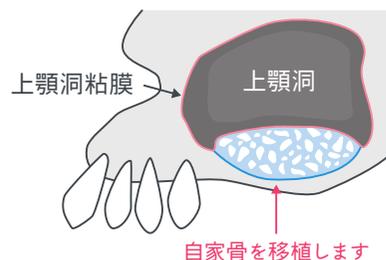
インプラント治療と他の治療との比較

	治療方法	硬い物が 噛める	違和感 のなさ	美しい 仕上がり	保険適用	メリットとデメリット
インプラント	歯の根の代わりにチタンのネジを骨に埋め込み、その上に歯をかぶせていく方法。	◎	◎	◎	×	○ 顎の骨に固定するので自分の歯と同じように噛める。 ○ 周囲の歯を削らずに済む。 × 観血的な手術が必要。(骨を削る必要あり)
ブリッジ	失った歯の両側の歯を削り、冠を橋渡しすることによって失った歯を補う方法。	○	○	○	△ (材料等に 応じて)	○ 固定式のため違和感が少ない。 × 両隣の健康な歯を削らなければならない。 × 清掃が困難。
部分入れ歯	失った歯の周囲の歯に金属の留め具をつけて取り外し可能な人工の歯を留める方法。	△	△	△	△ (材料等に 応じて)	○ 歯を削らずに済む。 × 食べ物が詰まりやすく、虫歯や口臭の原因になりやすい。 × 周囲の歯に負担がかかる。
総入れ歯	取り外し可能な人工の歯を顎の上に乗せる方法。	×	△	◎	△ (材料等に 応じて)	○ 簡単に取り扱いでき手軽。 × 入れ歯がぐらついたり、ずれたりするので硬い物が食べにくい。 × 食べ物が入れ歯と歯茎の間に挟まり傷むことがある。

骨移植によるインプラント治療

インプラント治療に必要な骨の幅や高さが不足していると、治療ができません。しかし、以下の骨造成、骨移植技術により、骨が不足している方でもインプラント治療が可能になります。

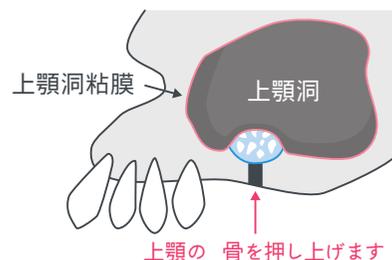
サイナスリフト



鼻の横にある空間に骨を追加
インプラントを支えます

上顎の奥の骨が薄いときに、お口の中から鼻の横の空洞に窓を開け、そこに骨を追加して骨を増やす方法です。

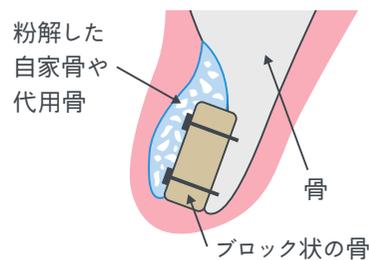
ソケットリフト



副鼻腔の底を持ち上げて
骨造成します

上顎の奥の骨が比較的薄いときに、インプラント埋め込み用の穴から骨を追加して、インプラントを同時に埋め込む方法です。

ベニアグラフト



別の部位から骨を採取して
骨移植を行います

インプラントを埋める場所とは別の場所から骨を採取して、埋める場所へと移植して骨を増やす方法です。

インプラント治療の流れ

01 診査と治療計画

インプラント治療に必要な診察をします。患者さんの口腔内の状態やレントゲン写真を基に、インプラント治療が可能かどうかを検討します。手術が可能であれば、詳しい治療計画を立てて実際に治療していきます。

02 術前処置

虫歯の処置や歯周病の治療、骨移植など、インプラント治療に必要な口腔内環境を整えるための治療をします。

03 歯科用インプラントの埋入手術

顎の骨に歯科用インプラント(人工歯根)を埋入する手術をします。

04 治療期間

埋入したインプラントが骨としっかり結合されるまで、一定の治療期間が必要です。

05 歯の土台の取り付け

“アバットメント”と呼ばれる歯の土台を取り付けます。状況に応じて簡単な手術を行う場合もあります。

06 人工歯の作成と装着

埋入したインプラントと口腔内全体の型取りをします。それを基に失われた部分の歯を人工的に作り、アバットメントに装着したら完成です。

07 メンテナンス

歯科用インプラントを末長く安定して使い続けるには、適切なホームケアと定期検診によるプロフェッショナルケアが不可欠です。治療が終わったあとも、担当医の指示に従い、きちんと管理していきましょう。